

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	持田団地建替事業				開始年度	平成16年度	
基本目標	歴史と伝統を生かしたうるおいのあるまちづくり				終了年度	平成21年度	
担当課(局)	建設管理課	担当係	建築・都市計画係	記入者	川越英治	評価者	曾我部 義雄
20年度決算	409,620	千円	21年度予算	288,520	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	10,781	千円	21年度人件費	14,566	千円	事業従事者数	1.50 人 2.00 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	農業・歴史・伝統の調和した良好な住環境を形成し、ふれあいと安らぎを感じ元気のある地区を再構築する。
事業の内容	①持田団地の建替え建設②老人福祉センター建設③持田地区まちづくり協議会活動

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 事業の進捗	19年度からの繰越3棟 20年度3棟 20年度完成4棟
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 工程調整	週1回の工程会議を行い、各業者の進捗状況や取りまとめを行う
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	事業の進捗	目標値	3	6	8
		実績値	0	4	
		達成率	%	0.0%	66.7%
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	工程調整	目標値		30	50
		実績値		30	
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	①持田地区全体の活性化、再構成という大規模事業のため、町主体で事業をおこなった。今後の他団地の事業においては、民間との共同の可能性はある。②事業の内、福祉施設の管理・運営は健康福祉課、地域内協議会開催は政策推進課で行っている。③事業廃止による影響は大きい。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	(成果)幅広い年齢層の公営住宅入居者の増加により、居住人口の減少や高齢化の進行に歯止めをかけつつある。(改善の余地)福祉施設の運営稼働により、一層の交流人口の増加が期待される。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	建築基準法改正(H19.6)の外部要因のため、事業執行が遅れる。現在、業者との緊密な協力体制により、事業を執行している。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	良好な住環境や元気のある地区を再構成するためには、どのような地区内交流が可能か、地区住民に検討してもらい、実現してゆく。

事務事業名	持田団地建替事業	担当課(局)	建設管理課
-------	----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	21年度が最終年度であるため計画通り執行してもらいたい。 今後このような事業を行う場合は、PFI等の民間との共同を視野に入れコスト削減に努めたい。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎持田団地の建替は終了であるが、今後の整備の方向性について、住宅マスタープラン策定など検討を要する。
	コスト	現状維持	